

サミットアカデミーセカンダリースクール長野の開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 サミットアカデミーセカンダリースクール長野  
校長 イチカワドイルウォルター
- 2 位置 長野市三輪9丁目11-3
- 3 設置者 学校法人長聖  
理事長 イチカワドイル徳恵
- 4 学則定員 480人
- 5 開校年月日 令和6年4月1日

1 生徒数の状況（5月1日時点）

（単位：人）

	前期課程			後期課程			合計	申請時計画	定員
	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
R6									
R7									
うち新生									
(応募者数)									
県外出身者									

- ・当初の計画より入学者が少なかった。
- ・入学試験を7月・11月・1月の年3回実施している。また、今年度からは、従来の探究型入試および4教科型入試（国語・算数・理科・社会）に加え、2教科型入試（国語・算数）を新たに導入し、受験生の個性や得意分野を活かせる多様な選択肢を設けた。これにより、受験機会の拡充と志願者数の増加を図っている。
- ・学校説明会では、授業体験のほか、在校生によるプレゼンテーションや在校生保護者へのインタビューなどを取り入れ、学校の特色を多面的に発信することで、志願者層の拡大を期待している。

2 教職員の状況（11月末日時点）

（単位：人）

		校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員等	合計
計画	計	1	1	1	10	1	2	16
	専任	0	0	1	5	0	1	7
	兼任	1	1	0	5	1	1	9
R7	計	1	1	1	13	1	2	19
	専任	0	0	0	7	0	2	9
	兼任	1	1	1	6	1	0	10
差	計	0	0	0	3	0	0	3
	専任	0	0	▲1	2	0	1	2
	兼任	0	0	1	1	0	▲1	1

- ・教職員数については、外国人教諭を外部からの派遣ではなく直接雇用としたことにより計画時より多く充足しているが、再来年度から始まる後期課程の開設に向けて、教員の確保が今後の課題となっている。
- ・日本人教員と外国人教員による2名担任制を採用しているほか、クラス担任を含む全教員がローテーションで各クラスの担任業務を分担する「チーム担任制」を導入している。
- ・「チーム担任制」により、生徒が自らクラス運営や学校運営の主体であることを意識できるようにしている。また、担任教員の負担軽減につながるとともに、より多くの教職員が生徒一人ひとりに関わることで、きめ細かな生徒指導や学習支援を実現している。

### 3 教育の特徴等

- ・教育の柱の一つである「英語のシャワー」については、ネイティブの外国人教員が中心となって行う英語の授業のほか、毎朝15分間の英語活動、さらに週4日、7時間目に設定している英語を用いた探究活動「Summit Stage」の時間などを通して、学校での授業や活動の約3分の1を英語に触れる時間として確保している。
- ・「探究的な学び」については、各教科・各単元において、英語や他教科との関連を意識しながら、生徒の探究心を刺激する授業づくりに努めている。また、週に1時間、生徒が自ら学習内容を設定して取り組む「自由学習」の時間を設けることで、主体的に学ぶ姿勢の育成を図っている。
- ・来年度は現長野女子高等学校の新校舎へ移転し、前期課程の3学年がそろうため、引き続き生徒たちには学校づくりの一員であるという自覚と誇りを持てるよう指導を行い、子どもたち一人ひとりの個性と力が輝く学校であることを発信していく。

### 4 収支決算